

### 知事説明要旨

厳しい経済状況を踏まえ、今後も引き続き県内の景気動向や経済・雇用情勢を注視しつつ、国の動向を見極めながら、必要な対策を講じていきます。

また、企業誘致や農産物等の販売促進、魅力ある観光地づくり、福祉医療や環境対策に努めるとともに、道路整備の着実な推進と財源の確保について、引き続き国や関係機関に対して強く訴えていきます。

平成21年度予算編成に当たっては、行財政改革を推進して持続可能な財政を堅持しつつ、限られた行財政資源を「和歌山の強みを伸ばす取組」と「県民生活の根底を支える取組」に重点投資し、元気な和歌山の創造に向けた施策を積極的に展開していきます。



# 12月定例会概要

## 一般質問議員(16人)

12月8日(月)	12月9日(火)	12月10日(水)	12月11日(木)
山下 直也	花田 健吉	服部 一	玉置 公良
松坂 英樹	藤本眞利子	雑賀 光夫	藤井健太郎
原 日出夫	中 拓哉	平木 哲朗	角田 秀樹
谷 洋一	尾崎 太郎	前芝 雅嗣	井出 益弘

主な質問とこれに対する答弁は次のとおりです(要約抜粋)

### 中小事業者の資金繰り支援策

**問** 経営不振に見舞われている中小事業者は資金繰りが悪化し、経営破綻や連鎖倒産に追い込まれるなど、不安が広まっているが、資金需要への対策は万全か。

**答** 中小企業をめぐる資金需要については、国の緊急保証制度を受け、県では資金繰り安定資金など融資制度を早急に見直した。返済期間の大幅延長や再借換えの実施など、中小零細企業が借りやすくなったことで資金の利用が大幅に増加した。また、備えとして、平成20年度の新規融資枠900億円を確保している。

### 近畿自動車道紀勢線の整備促進

**問** 紀南地方にとって近畿自動車道紀勢線は、災害時の緊急患者や救護物資の輸送を担う命綱であり、早期の整備を待ち望んでいる。未事業化区間のすさみ・那智勝浦間のルートや開通の見通しはどうか。

**答** 国土開発幹線自動車道建設法の基本計画区間に位置づけられ、国において基礎的な調査が進められてきた。今後、田辺～すさみ間の事業推進にあわせて国による環境やルートなどの必要な調査・計画を進め、一刻も早く事業化のめどを立てて早期に完成するよう国に強く働きかけていく。



南紀田辺インターチェンジ

### 建設業者の健全育成

**問** 建設業界を取り巻く過酷な競争原理は建設業者を減少させ、競争相手の激減は健全な競争をも阻害しかねない。建設業者の今後の健全育成についてどう考えるか。

**答** 建設業の振興を図ることは大変大事なことであり、そういう目的からも新しい公共調達制度を導入し、その後も、不当廉売を防ぐため、大規模工事における予定価格の事後公表、最低制限価格の適用範囲拡大等、制度の一部を改定した。また、一般的な不況対策はもちろん、国の建設業界固有の金融制度の周知を行うなど、建設業界の振興と県全体の発展のために頑張っていく。

### 用語解説

**不当廉売**  
(ふとうれんばい)  
正当な理由なく商品価値や役務を不当な安値で提供し、他事業者の事業活動を困難にさせるもの。独占禁止法等で禁止されている行為。

### 猟銃の事故防止対策

**問** 野生鳥獣による農林業被害は依然として多く、猟銃による人身事故も発生している。今後、事故を防止するため、どのように取り組んでいくのか。また、有害鳥獣狩猟者の後継者問題にどのように対処していくのか。

**答** 猟友会では、公安委員会指定の射撃場を中心に、猟銃の取扱や狩猟技術の向上のための実射訓練に取り組んでいる。こうした安全対策や人材育成は非常に重要と考え、今後、銃刀法を所管する警察当局と連携を図り、猟友会とともに二層の事故防止をはじめ、鳥獣害対策、人材確保に取り組んでいきたい。

### 紀州材生産販売プランの推進

**問** 平成24年を目標とする「紀州材生産販売プラン」を作成したことは評価できるが、プラン実現のための推進体制をしっかりと考えることが必要である。具体的に何に重点を置いて森林・林業政策に取り組みもうとしているのか。

**答** 「紀州材生産販売プラン」に基づき、低コスト林業、大消費地等への販売促進に努めている。本年度、県森林組合連合会を核とした協議会を設け、紀州材の安定供給に向けた素材集出荷体制の整備について検討するとともに、木材流通の専門的なアドバイザーを置いて木材販売力の強化を図っている。今後も、こうした取組を重点に、林業関係者が一体となった総合的な森林・林業政策の推進に努めていきたい。



### 県有施設等の見直し

**問** 県では、平成20年3月に新行財政改革推進プランを発表し、9月に、県有施設、外郭団体、補助金見直しの行財政改革推進本部事務局案をまとめたが、事務局案に至る経過の中でどういった検討をしたのか。

**答** 事務局案の策定に当たっては、所管部局から現状を聞き、例えば県有施設であれば、必要性、利用状況、維持管理コスト、老朽化と建替費用といった観点から検討を行い、廃止や、より効率的な運営体制等の検討が必要という整理をした。

### レジ袋有料化への理解促進

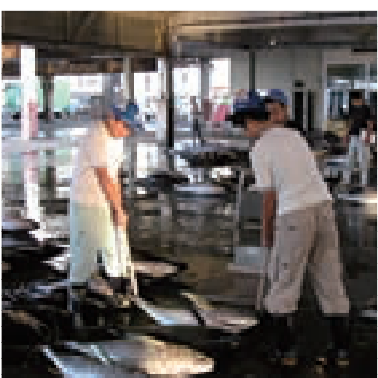
**問** 平成21年1月23日よりレジ袋の無料配布が中止になるが、ごみ袋を半透明のレジ袋でもよいとする和歌山市では、レジ袋を無料配布する店と有料配布する店が混在し、混乱が予想される。県民への理解促進策をどう考えるのか。

**答** 県民に理解してもらうため、広報紙やテレビ・ラジオ等を活用するとともに、わかやまノーレジ袋推進協議会を構成する市民団体、市町村と連携を図りながら店頭キャンペーンやチラシによる広報活動等を行い、1月に混乱なく一斉実施できるように努めていく。また、現在参加していない事業者には引き続き参画を働きかけていきたい。

### キャリアデザイン教育の推進

**問** 「キャリアデザイン」とはどのような意味か。また、少子化の中、豊かな心を持つ子どもを育てるために地域ぐるみの教育が必要になってきているが、現状と今後の対応はどうか。

**答** 「キャリアデザイン」は人生設計の意味であるが、中学校では職場体験として実施している。経済団体や保護者等と協議の場を設けるなど円滑な実施に努めているが、地域によっては課題もある。関係機関との連携・協力を進め、教員の理解や認識を深めるための研修会等を通じて指導の充実に努めていく。



中学生の職場体験学習